

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	東海支部	(2)記載者氏名:	梶川 あゆみ	会員番号:	12914	事務局整理記入欄	東海 - 20	
分水嶺区分	W013烏帽子岳への取付き		(3)山行日:	2005年	3月	12日	(4)天候	雪

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

西山 秀夫	9600	横田 明信	7259				
和田 豊司	6797	梶川 あゆみ	12914				
大口 瑛司	5183						
大島 忍	13079						
計			6名	計			0名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	中俣沢林道を約3km入り、烏帽子岳東尾根を登る。												
アプローチ:	3/11: 名古屋～塩尻～朝日村												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	中俣沢林道入口	古見						950		6:35			
	烏帽子岳東尾根	費川						1,593		10:50			
分水嶺到達点W013	烏帽子岳	費川						1,952	13:35				
分水嶺離別点	-												
歩行終了点	烏帽子岳	費川						1,952	13:35				
総歩行時間(休憩時間を除く):											6時間30分		

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W013	烏帽子岳	3	不明	不明	積雪下

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

中俣沢に沿って林道が奥まで伸びているが入口にはゲートがある。 榎俣沢と中俣沢の合流地点付近にはアウトドア施設、キャンプ場が開設されている。

(9)水および植生に関連した特記事項

下部はカラマツの植林、15903m付近からタケカンバが優勢となる。沢沿いには自然林が若干残る。

(10)その他の特記事項

積雪量はあまり多くない。ハンターの話によれば、降る時には降る、とのこと。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 四つん這いになるほどの急峻な登りを烏帽子岳へ(偵察時)